

新しい生活が始まりました!

台東区教育委員会では、感染症リスクを低減するための指針として「台東区立学校園版 感染症予防ガイドライン」を策定し、新たなウイルスと共に生きていかなければならないという認識に立ち、感染症予防策を行いながら、子供たちの健やかな学びを保障するということの両立を図り、学校園での新しい生活を始めています。

学校園における感染症対策

教育活動の実施に当たっては、以下の対策を行っています。

- ・手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底する
- ・集団感染のリスクが高い、以下の3つの条件が同時に重なることを徹底的に避けるとともに、1つ1つの条件が発生しないよう配慮する

- ①換気の悪い密閉空間
- ②多くの人が密集
- ③近距離での会話や発声

この他に、学校医や学校薬剤師等と連携した校内・園内の保健管理体制を整備することや、保護者との日頃の連絡体制を改めて確認することに取り組んでいます。

また、特定の地域におけるクラスターの発生状況や都内の患者の発生状況等によっては、一部又は全ての学校園において休業措置を行う場合があります。

①換気の悪い密閉空間



②多数が集まる密集場所



③間近で会話や発声をする密接場面



出典：首相官邸HP

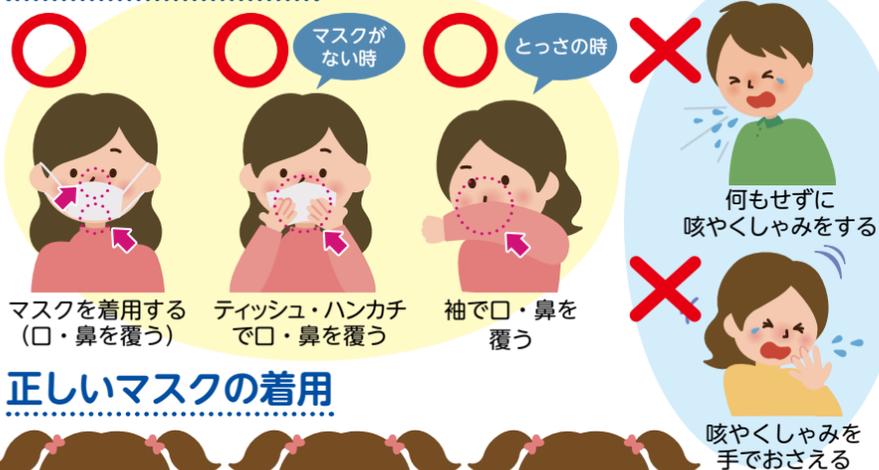
具体的な感染症対策

この他にも、子供たちの安全を確保するために、様々な感染症対策に取り組んでいます。

●幼児・児童・生徒

正しいタイミング（登校・登園時や給食の前後、体育の授業後、外から教室等に入る時、トイレ使用後など）と正しい方法による手洗い、マスクの着用を基本とした咳エチケット（ティッシュ、ハンカチ、袖や上着の内側等で口・鼻を覆うなど）を行うように伝えています。

3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



正しいマスクの着用



出典：首相官邸HP

マスク着用により熱中症などの健康被害の可能性が高いと考えられる場合には、屋外や換気が十分に行われている環境の下で、互いに十分な距離を保った上で、マスクを外すことは認めています。

●給食及び昼食

給食の配食を行う児童・生徒は、衛生的な服装をしているか、手指は確実に洗浄したか等、給食当番活動が可能であるかを毎日点検しています。

また、児童・生徒全員の食事前の手洗いを徹底し、食べている時には飛沫を飛ばさないよう、机を向かい合わせにしない、会話を控えるなどの対応をとっています。



●校内・園内の環境

手洗いをこまめに行うなど、手指衛生を保てる環境を整備しています。

教室等の換気は、気候上可能な限り常時、可能であれば2方向の窓を同時に開けて行っています。

教室等における座席の配置の工夫として、児童・生徒の席の間に可能な限り距離を確保し（おおむね1~2m）、対面とならないような形としています。

定期的に消毒液を使用して清掃を行っています。

また、子供たちの降園・下校後には教職員が、子供たちが使用した教材・教具等を消毒しています。

